おおたま学園コミュニティ・スクール便りNo.7

大玉村教育フォーラム

大玉村コミュニティ・スクール委員会では、熟議で高まった委員一人一人の思いを少しでも多くの保護者や地域住民に発信したいという願いから教育フォーラムを開催しています。今年度は第４回目には講演会、第５回目では子ども達による発表という形で開催しました。フォーラムの内容はその企画の段階から委員会で話し合いながら進めています。回を重ねて、徐々に理解や認知度は高まっていますが、参加者は依然として教職員が多く、保護者や地域住民の方々の参加をどう促していくかが課題となっています。今年度開催したフォーラムについてご紹介します。

第４回　平成25年6月29日(土)

午前9時15分～11時45分

《テーマ》みつめよう、家庭教育！

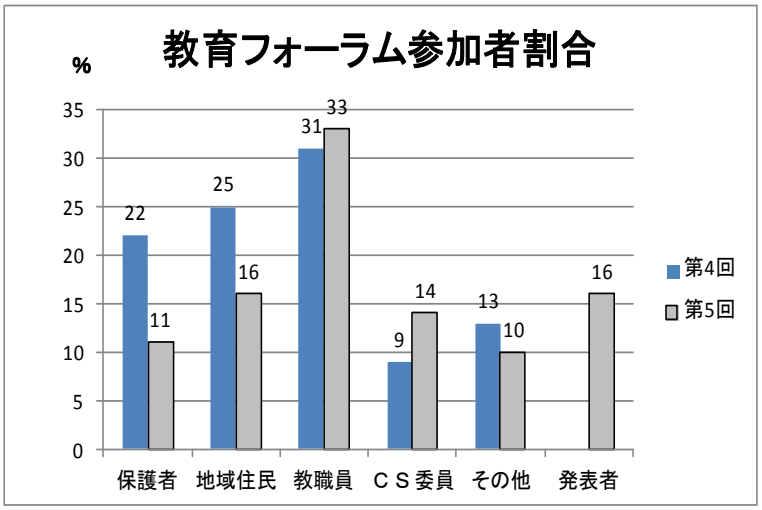
【演題】子育ては、愛された自分さがし

～子どもたちと向き合うために～

【講師】桜の聖母短期大学教授

西内みなみ先生

【アトラクション】玉小6年生による「本揃田植え踊り」



西内先生のお話に聞き入る参加者。

保護者が着付けをしてくださいました。

「本揃田植え踊り」見事な発表となりました。

第5回　平成26年1月26日(日)　午前9時15分～11時30分

《テーマ》大玉の子どもたち　いいところ再発見！

大人が気付いた大玉の子どもたちの良いところを、

推薦者の大人と子どもが一緒に発表しました。

★平和の大切さを学んで（大山小６年）
★スポーツで頑張っていること（大山小４年）
★ボランティア活動に参加して（玉井小６年）
★伝統芸能を引き継いでいくこと（玉井小５年）
★世界平和について考えたこと（大玉中２年）
★海外の子どもたちとの交流について（大玉中２年）
★駅伝で大玉のたすきをつなぐ（大玉中駅伝選手団）

アンケートから

保護者

〇共感型の母親になれるようになっていきたいです。他児と比べてしまうこともよくあるので本当に気をつけたいです。もっともっと話をきいてみたかったです。

〇子どもたちの発表とてもすばらしかったです。未来ある子どもたちがこういった場で、大人達に自分の経験したこと、思いを伝えることはとても大事なことだと強く感じました。

〇村全体の一人一人の子の良さを大切にし、引き出せるようなていねいな教育が大切だと思う。そして子ども達が大玉の素晴らしさを感じていけるようなものにしていただきたいです。

教職員

〇大変楽しい講演でした。すばらしかったです。いつも思うことですが、多くの保護者の方の参加があればと思います。

〇大玉村の子ども達がさまざまな活動に取り組んでいることがよくわかりました。また活動をとおして自分の考えを深めたり、これからの生き方につながるようなものを一人一人つかんでいることに驚き、また感動しました。

〇再発見した良いところを伸ばし、引き出すのは我々大人の役目であることをしっかりと自覚し、責任を持って教育にあたらなければと思う。

地域住民

〇子育てに必要なこと「みんなで支え、みんなで育て、みんなが育つ」。地域の大人がより多く聞いてみんなで村全体自分も含めて関わる事が大切と思います。

〇第 5 回大玉村教育フォーラム、新しい試みで子どもたちを主役とした「大玉の子ども達のいいところ再発見！」というテーマでとても活気があり、子ども達の表情の明るさや真剣な眼差しに感動！これからも子ども大人が共に学べる機会を設けて欲しいと思います。

〇子どもたちにいろいろなことを経験させていくこと、地域をもっと子ども達に知ってもらうこと、こうしたことの積み重ねが子どもたちの自信と生きる力につながっていくのではないかと考える。

CS 委員

〇本日の出席者を見るかぎり、子どもを持つ親が少ないように思いました。よい取り組みであるだけに、もっと広報をし、参加者を増やすようにできたらよいと思います。本日の講演たいへん良かったです。もっと多くの人に聞いてもらいたいと思います。

〇再発見することがいっぱいありました。それぞれに子どもの力を発揮させてくれる先生、地域、保護者の温かく強い心に感謝するばかりです。今日登場しなかった大勢の子どもにもスポットを当ててあげたいです。

〇CS の理念等がより保護者、地域住民に浸透することを願います。今回のテーマに基づく発表はより多くの方々に届くと良いと思います。

その他

〇大変すばらしい講演ありがとうございました。自分の子育てを振り返り、今後、子どもたちに愛情をそそいでいきたいと思います。

〇子ども達の視野を拡大させるために、いろんな経験をさせる活動を多くしていただけることをお願いします。

コミュニティ･スクールってなんだっけ？

コミュニティ･スクール委員会には学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった権限が与えられています。大玉村では平成 23 年 4 月に村内全ての幼稚園、小・中学校をコミュニティ･スクールに指定し 3 年が経過した今、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」の土台が少しずつ形作られてきています。コミュニティ･スクール委員会では与えられている権限を最大限活用して、子どもたちの学ぶ力を伸ばすために何をするべきなのかみんなで考えています。今年度は 9 回の委員会を開催し熟議を重ねてきました。委員会としての取り組みは主に次のようなものです。

◎おおたま学園を構成する５校園についての情報交換・報告・説明・協議に力を入れます。
◎保護者・地域住民がより「大玉の教育」「子育て」に関心がもてるような企画に力を入れます。
◎学校支援地域本部と連携して、学校の課題解決に向けた支援・ボランティア協力を進めます。
◎CS 委員に研修の機会を提供し、よりよい「地域とともにある学校づくり」の保護者・地域リーダーづくりを目指します。
◎５校園からの要望、課題等について「熟議」をとおして学校・保護者・地域等の役割を明らか（具体的行動の見える化）にします。
◎様々な諸団体等との連携を強めながら活動を進めます。

調査研究会議

コミュニティ・スクール委員会

～編集後記～

ソチ五輪での日本選手団の頑張り、素晴らしかったですね。あの感動を再び！とパラリンピックでの活躍も期待するところです。メダルの数に振り回されることなく選手全員にエールを送りたいと思います。

今年開催した第５回教育フォーラムのテーマは、子どもの良いところに目を向け、ほめてあげて、子どもの良さを再認識しようというものでした。子育てに限らず、人と人とがお互いに認め合って尊重し合う社会は誰にとっても心地良いものです。フォーラムで感じた温かく優しい気持ちを持って、子ども達が日常のステージの素敵なヒーロー、ヒロインになれるようこれからもエールを送り続けたいと思っています。

コミュニティ･スクール コーディネーター 伊藤由美子

H26/3/11 発行　おおたま学園コミュニティ・スクール委員会
（事務局：大玉村教育委員会内　連絡先：48-3138）